

「数値実験による準二年周期振動の研究」

藤原賞＝栗原宜夫会員

(米国海洋大気庁, 地球流体力学研究所)

「数値モデルを用いた熱帯低気圧の理解及び予報についての研究」

住 明正会員

(東京大学, 気候システム研究センター)

「TOGA を中心とする熱帯海洋大気結合システム研究の推進」

6. 1994年総会議題について

文部省から指導があった「特定の理事の親族等が理事数の3分の1を超えることの禁止」についての規定を定款に含める件について、総合計画担当理事が定款の一部改正案の原案を提案。常任理事会としてこれを承認し、天気3月号に掲載することとする。理事候補選挙の結果の公示は選挙管理委員会から天気4月号に行われる。また、同選挙の当選者によって推薦された理事候補の名簿も天気4月号に公示す

る。このための調整作業は庶務担当理事が行う。

7. 1995年春季大会について

担当は東京管区気象台と気象庁海洋気象部。会場について、事務局で竹橋会館を打診してみたところ、改装工事後は30パーセント程度の利用料金の値上げが見込まれる。組合員料金で借りられるかどうか大きな問題であるが、会館側担当者話では可能であろうとのこと。

8. 1994年度事業計画案および予算案

中部支部が初めての夏季大会を計画している。

天気のIAMAP特集号、集誌のTOGA/COARE特集号、秋季大会シンポジウムへの国際学術交流基金援助等で300万円程度の支出が見込まれる一方、TRMM等の委託研究に関する学会管理費の臨時収入も見込まれるので、多少の赤字予算で済む見込み。郵便料金値上げで学会費値上げによる増収700万円うちの200万円を使うことが必要となり、痛い。

NEWS から気候情報へ

「天気」ではこれまで「NEWS」のコーナーで気候に関する情報として、最新の北半球500hPa天気図と世界の気候の記事を毎月掲載してきましたが、最近の気候に関する会員の関心の高まりに対応して、今月号から名称を「気候情報」と変え、海面水温の状況やオゾンの情報など気候に関連するいくつかの情報を定期

的に掲載することと致しました。

新しい「気候情報」についてご意見ご希望などがございましたら、編集委員会まで積極的にお寄せください。

「天気」編集委員会